

札幌北陵高等学校創立五周年記念 奉祝歌

心のふるさと

作詞

一、 石狩の豊かなる里に匂ふや春の花衣

そのふところに集いし千余の健児

若人の夢は手稲の峯をはるか越えゆき

若き日の、のぞみは果しなく高い

おゝ北陵高校 我等が心のふるさと

三、 北国の雪の山脉 よしや嵐の荒ぶとも

そのきびしさに鍛えし千余の健児

若人の精神は情熱をこめ常にいそしむ

若き日の、のぞみは果しなく高い

おゝ北陵高校 我等が心のふるさと

二、 清く澄む伏籠の流れ一筋絶えずゆくごとく

そのゆたけさに学びし千余の健児

若人の生命は真理を求め、永遠にのびゆく

若き日の、のぞみは果しなく高い

おゝ北陵高校 我等が心のふるさと

(昭和51年9月15日 作)